デジタルカメラ
Q1 DIGITAL 4.0 Ir

使用説明書

日本語

重要

お客様へ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士写真フイルム株式会社およびグループ会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士写真フイルム株式会社およびグループ会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1. 定義

(1) 本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMを指します。
(2) 本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。
(3) 関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。
(4) 本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

2. 使用権の許諾

富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。
(1) 機械読み取り可能な形式で、1台のコンピューターに本ソフトをインストールし、使用する権利
(2) バックアップ目的にて本ソフトを1部限り複製する権利

3. 禁止事項

(1) お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。
(2) お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。
(3) お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改編・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。
(4) お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4. 著作権その他の知的財産権

本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5. 保証および免責

(1) お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無料にて良品と交換します。

(2) 本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての存在につき、富士フイルムは一切責任を負いません。

(3) 本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第(1)項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6. 責任の制限

富士フイルムは、「5.保証および免責」に明示されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる存在(逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません)について一切責任を負いません。

7. 輸出関連法の順守

お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8. 解除

お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8. 解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了したときまで有効とします。

10. 契約終了後の義務

本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト(複製物を含む)、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃却するものとします。

⚠ 本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に傷害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを損傷する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ(以下パソコンといいます)とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
表示されている画面やメニューが本書と異なる場合がありますがご了承ください。また、本書ではWindows版の画面で主に説明しています。

目次

重要 2

はじめに 6

付属品 7

各部の名称 8

ストラップの取り付け 10

準備編 11

- 電池とメディアを入れる 11
  - xD-ピクチャーカード を取り出すときは 13
- 電源のON/OFF 14
  - パワーセーブ機能 14
- 日時の設定 15
  - 日時の修正 16
  - 日付の並び順の変更 16
- 電池残量の確認 17

使ってみよう編 18

- 静止画を撮影してみよう 18
- ピクセル（記録画素数）の選択 20
- ストロボモードの選択 21
  - オートモード 21
  - 赤目軽減モード 22
  - 強制発光モード 22
  - 発光禁止モード 22
- デジタルズーム 23
- 近接モード 24
- 静止画撮影メニューの操作 25
  - 撮影モード 26
  - アカルサ（露出補正） 26
  - ホワイトバランス（光源選択） 27
  - 各種設定 27
- 画像の再生 28
  - マルチ再生 29
  - 再生ズーム 29
- 画像の消去（1コマ消去） 30
- 再生メニューの操作 31
  - 消去 32
  - フォーマット 33
  - プロテクト（保護） 34
  - プリント予約（DPOF） 35
  - カードへコピー 37

赤外線送信機能 38
各種設定 39
動画の撮影 40
動画撮影メニューの操作 42
撮影モード 42
各種設定 42
動画の再生 43
各種設定の変更 44
SET-UP（セットアップ） 45
モニター明るさ 46
日時設定 46
リセット 46
画像をパソコンに取り込む 47
Step 1：USBドライバをインストールする (Windows 98/98 SE) 48
Step 2：カメラをパソコンに接続する 49
Step 3：画像をパソコンに取り込む 51
カメラをパソコンから取り外す 53
カメラとプリンターを直接つないでプリントする（PictBridge機能） 54
FinePixViewerのインストール 57
FinePixViewerを使用して、画像をパソコンに取り込む 65
Acrobat Readerのインストール 69
カメラの使用説明書のインストール 72
ソフトウェアを削除するには（アンインストール） 74
システムアップ機器 75
その他の別売アクセサリーの紹介 76
使用上のご注意 77
電池についてのご注意 78
xD-ピクチャーカード ™ についてのご注意 80
警告表示 82
困ったとき 84
用語の解説 95
主な仕様 96
安全上のご注意 97

はじめに

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」（→97ページ）をお読みください。

■ 撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については保証いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された**xD-ピクチャーカード**の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

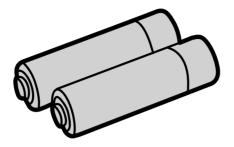
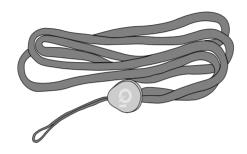
■ 製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

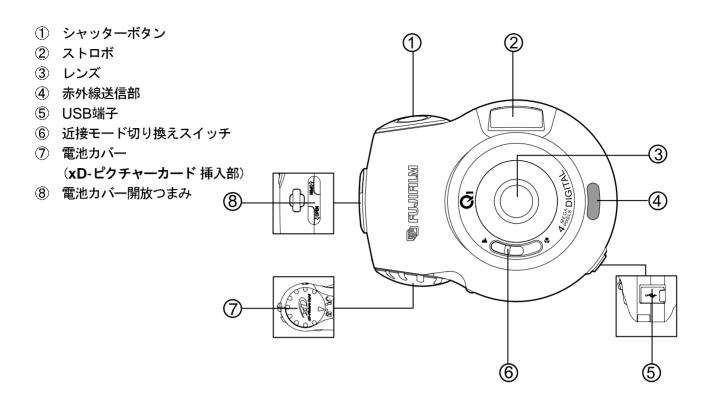
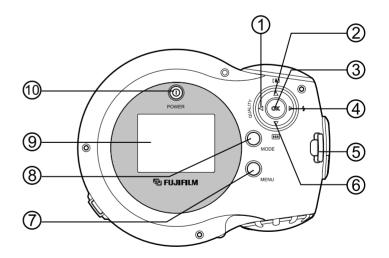
■ 商標について

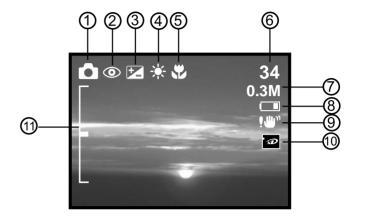
- xD-Picture Card、**xD-Picture Card™**、**xD-ピクチャーカード™** は富士写真フイルム（株）の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeロゴは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- Adobe Acrobatは、Adobe Systems Inc.の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

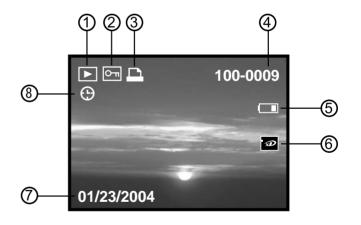
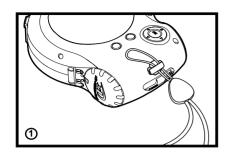
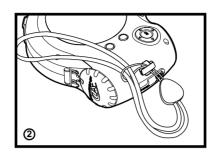
付属品

- 単3形アルカリ乾電池LR6（2本）

- ストラップ（1本）

- Q1 DIGITAL 4.0 Ir専用USBケーブル（1 本）
- CD-ROM（1 枚）
  ＜USBドライバ、ソフトウェア（FinePixViewer、Acrobat Reader）、使用説明書＞
- はじめに／安全上のご注意（1部）
- クイックスタート ガイド（2部）
  ＜カメラ操作編、パソコン接続編＞
- 保証書（1部）

各部の名称

① シャッターボタン
② ストロボ
③ レンズ
④ 赤外線送信部
⑤ USB端子
⑥ 近接モード切り換えスイッチ
⑦ 電池カバー
（**xD-ピクチャーカード** 挿入部）
⑧ 電池カバー開放つまみ

① 十字（◀） ボタン
QUALITY ボタン
② 十字（▲） ボタン
[♠] 望遠ズームボタン
③ **OK** OKボタン
④ 十字（▶） ボタン
ϟ ストロボモードボタン
⑤ ストラップ取り付け部
⑥ 十字（▼） ボタン
[♠♠♠] 広角ズームボタン
⑦ **MENU** MENUボタン
⑧ **MODE** MODEボタン
⑨ 液晶モニター（LCD）
⑩ **POWER** POWER（電源）ボタン
LEDランプ

■ 静止画撮影モード

① 撮影モード
② ストロボモード
③ アカルサ（露出補正）
④ ホワイトバランス（光源選択）
⑤ 近接モード
⑥ 撮影可能枚数
⑦ ピクセル（記録画素数）
⑧ 電池残量警告
⑨ 手ブレ警告
⑩ xD-ピクチャーカード
⑪ ズームバー

■ 再生モード ：静止画

① 再生モード
② プロテクト
③ プリント予約（DPOF）設定
④ 再生コマNO.
⑤ 電池残量警告
⑥ xD-ピクチャーカード
⑦ 撮影日時
⑧ プリント予約（DPOF）・日付あり設定

ストラップの取り付け

①②の順にストラップを取り付けます。

準備編

電池とメディアを入れる

使用する電池

- 単3形アルカリ乾電池（2本）または単3形ニッケル水素電池（2本：別売）
- 電池作動可能枚数の目安

単3形アルカリ乾電池LR6	約100枚
単3形ニッケル水素電池HR-AA（ニッケル水素2300）	約150枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による

＊　『CIPA DC-002-2003「電池寿命測定法」』（抜粋）
液晶モニターON、温度23℃、使用メディア：内蔵メモリ、30秒ごとに1回撮影、2回に1回ストロボフル発光、10回に1回電源ON/OFFして撮影

・　注意：アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

単３形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

◆ 電池について ◆

- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池、リチウム電池、ニカド電池は使用しないでください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、撮影枚数が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～+10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 電池についてのご注意は、78ページをご参照ください。
- お買い上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池は使用可能時間が短くなることがあります。詳細については79ページをご参照ください。

使用する xD-ピクチャーカード™（別売）

＊本機は 16MB のメモリを内蔵しています。カメラに **xD- ピクチャーカード** を入れなくても撮影できます。

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）

本カメラでの動作保証は富士フイルム製 **xD- ピクチャーカード** のみとなります。

xD- ピクチャーカード は小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

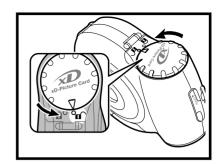
xD- ピクチャーカード についてのご注意は80 ページをご参照ください。

- **xD- ピクチャーカード** スロットに **xD- ピクチャーカード** が入っていると、**xD- ピクチャーカード** に記録され、**xD- ピクチャーカード** の画像を再生・消去します。
- **xD- ピクチャーカード** スロットに **xD- ピクチャーカード** が入っていないときは、 内蔵メモリに記録され、 内蔵メモリの画像を再生 ・ 消去します。

xD- ピクチャーカード が入っているときは内蔵メモリは使用できないので 、**xD- ピクチャーカード** の空き容量がなくなった場合には撮影できません。**xD- ピクチャーカード** を取り出すと、内蔵メモリが使用できるので、撮影可能になります。

内蔵メモリに記録されたデータを **xD- ピクチャーカード** にコピーしたいときは、「カードへコピー（→ 37 ページ）」を行ってください。

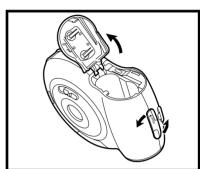
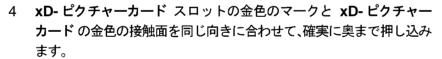
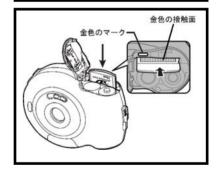
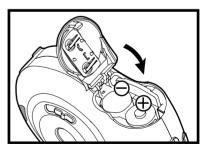
1. 電源が切れていることを確認してから、電池カバーを🔓側に回し、ロックを外します。

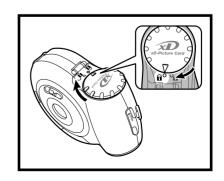
- 電源が入った状態で電池カバーを🔓側に回すと、電源が切れます。

2. 電池カバー開放つまみを回すと、自動的に電池カバーが開きます。

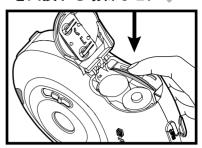
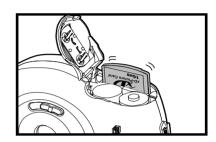
> 電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。
> **xD- ピクチャーカード** または画像ファイルなどが壊れることがあります。

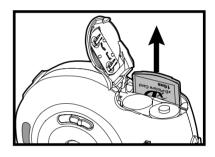
- 電池カバーに無理な力を加えないでください。

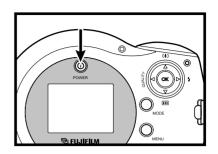
3. 電池を表示に従って正しく入れます。

4 **xD- ピクチャーカード** スロットの金色のマークと **xD- ピクチャーカード** の金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで押し込みます。

- **xD- ピクチャーカード** の向きが間違っていると、奥まで入りません。
  また、無理な力を加えないでください。
- 本製品は 16MB メモリを内蔵しており、**xD- ピクチャーカード** を入れなくても撮影できます。

5. 電池カバーを閉めます。

6. 電池カバーを🔒側に回し、ロックします。

> 電池カバーの ▶ を🔒側に合わせないと、電源が入りません。必ずロックしてください。

◆ **xD-ピクチャーカード を取り出すときは（xD-ピクチャーカード を交換する場合など）** ◆

1. 電池カバーを開け、**xD-ピクチャーカード** を軽く押します。

2. ロックが外れ、**xD-ピクチャーカード** が押し出されます。

3. **xD-ピクチャーカード** を引き出します。

- **xD-** ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。
- ロックが外れた直後に **xD-** ピクチャーカード から急に指を離すと、**xD-** ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電源のON/OFF

電源を**ON/OFF**するには、**POWER**ボタンを押します。

◆ パワーセーブ機能 ◆

電池の消耗を抑えるため、一定時間操作しないと、自動的に電源が切れます。

* 電源を入れ直すには、POWER ボタンを押してください。

[30秒][1分][3分] : パワーセーブ機能が有効です。
[OFF] : パワーセーブ機能は働きません。

工場出荷時は[3分]に設定されています。
[SET-UP] メニューについての詳細は、45 ページをご参照ください。

日時の設定

次の状態で電源を入れると、日時設定画面が表示されます。

- ご購入後初めて電池を入れたとき
- 日時の設定をしていない（右の画面でMENUボタン[あとで]を選択）
- 3時間以上電池を取り出した状態で放置し、その後電池を入れたとき

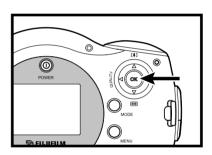
電源を入れて日時設定画面（右）が表示されないときは、「日時の修正」を参照して、日時を確認、修正してください。

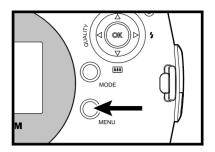
1. ◀▶ボタンを押して、[年][月][日][時][分]を選択します。
2. ▲▼ボタンを押して、数字を修正します。

▲ または ▼ を押し続けると、数字が連続して変わります。

12 時間表示です。
12:00 を超えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。
＊ 手動では切り換えられません。

3. 日時を設定したら、**OK**ボタンを押します。
   OKボタンを押すと、撮影モードになります。

3 時間以上電池を取り出した状態で放置すると、日時設定などの各種設定が工場出荷時の設定に戻ります。

日時の修正

1　**MENU**ボタンを押します。

2.　◀▶ボタンを押して、SET各種設定を選択します。

3.　▲▼ボタンを押して[日時設定]を選択し、**OK**ボタンを押します。

15ページの「日時の設定」と同様に、日時を修正します。

日付の並び順の変更

1. ◀▶ボタンを押して、[MM/DD/YYYY(日付の並び順)] を選択します。
2. ▲▼ボタンを押して、設定したい並び順を選択します。
   YYYY.MM.DD：年.月.日
   MM/DD/YYYY：月/日/年
   DD.MM.YYYY：日.月.年
3. 設定が終わったら、OKボタンを押します。

電池残量の確認

電源を入れ、液晶モニターに電池残量警告 (▭▪、▭) が表示されていないことを確認します。

① 表示なし： 電池残量は十分です。

② ▭▪： 電池残量が少なくなっています。新しい電池を準備してください。

③ ▭： 電池残量がありません。直ちに表示が消えて動作を終了します。新しい電池に交換してください。

! 上記は撮影モードでの目安です。モードや電池の種類によっては “▭▪” から “▭” になるまでの時間が短くなることがあります。

! 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上、電池残量不足 “▭▪” “▭” が早く表示される場合がありますが、故障ではありません。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。

◆ 電池残量表示について ◆

1) カメラの動作状態により、消費電力は大きく変化します。このために、再生モードでは電池残量表示 “▭▪” “▭” が出ていなくても、撮影モードでは表示される場合があります。

2) 電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示が出ずにカメラの電源が切れることがあります。一度電池切れになった電池を再利用した場合には、この現象が起こりやすくなります。

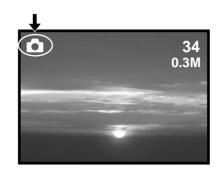
上記2)の場合は、新しい電池または充電済みの電池にすぐに交換してください。

使ってみよう編

静止画を撮影してみよう

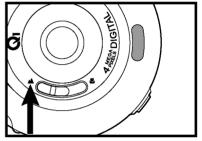
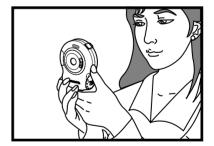
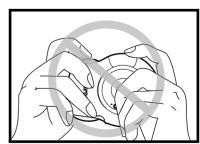
1. **MODE**ボタンを押して、静止画撮影モードを選択します。

MODE ボタンを２回押しても、静止画撮影モードが表示されないときは、撮影モードが、動画撮影モードになっています。

MENU ボタンを押して、撮影モードを静止画撮影モードに切り換えてください（→25ページ）。

2. 近接モード切り換えスイッチが通常モードになっていることを確認します。

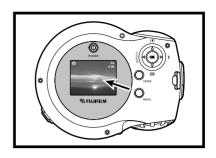
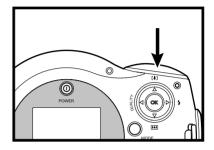
- **撮影可能距離**
  約100cm～無限遠（∞）

60cm ～ 100cm で撮影するときは、近接モードに切り換えてください（→ 24 ページ）。

3. 両脇を締め、両手でカメラを構えます。

4. レンズ、ストロボに指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合には、77 ページを参照して、レンズをきれいにしてください。

雪やほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。発光禁止モードでの撮影をお試しください。

5.　液晶モニターを見て、構図を決めます。

- 撮影するときにカメラがブレると、画像がブレる原因になります。特に暗い場所で発光禁止モードにして撮影する場合にはご注意ください。
- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて再生してご確認ください（→ 28 ページ）。

6.　シャッターボタンを押すと、“ピッ” と音が鳴り、撮影されます。
続いて画像が記録されます。

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** に記録されます。
  * 内蔵メモリに記録できません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリに記録されます。

- ストロボ発光撮影時、ストロボは数回発光します（予備発光、本発光）。
- シャッターボタンを押した瞬間から一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- LED ランプ（赤）が点滅しているときは、ストロボ充電中です。ストロボ充電中は撮影できません。
- 電池残量が少なくなると、ストロボ充電時間が長くなることがあります。

◆ LED ランプ表示について ◆

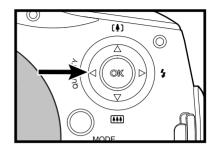
表示	状態
点灯	撮影準備中（電源ONなど） メモリ動作中（画像記録中など） USBモード
点滅	ストロボ充電中 →充電完了するまでお待ちください。 電池残量なし →新しい電池に交換してください。

画像記録中に電源を切ったり、電池カバーを開けたりしないでください。画像ファイルが壊れることがあります。

ピクセル（記録画素数）の選択

4種類の設定から選択できます。QUALITYボタンを押すごとにピクセル（記録画素数）が切り換わります。

→4M·F→4M·N→2M →0.3M→

ピクセルを変更すると、液晶モニターの撮影可能枚数が変わります。

撮影可能枚数

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

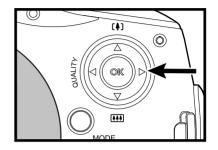
標準撮影枚数

被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、表示される撮影枚数が減らなかったり、2コマ減ったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。

液晶モニター	ピクセル（記録画素数）	クオリティー（圧縮率）	撮影可能枚数						
			内蔵16MBメモリ	xD-ピクチャーカード					
				DPC-16 (16MB)	DPC-32 (32MB)	DPC-64 (64MB)	DPC-128 (128MB)	DPC-256 (256MB)	DPC-512 (512MB)
4M・F	2272 × 1704	FINE	4	5	11	22	45	118	180
	用途例	DSCW、2L、A5サイズ程度でプリントする場合　＊特に画質を優先するとき							
4M・N	2272 × 1704	NORMAL	12	16	32	66	132	266	526
	用途例	DSCW、2L、A5サイズ程度でプリントする場合							
2M	1600 × 1200	-	25	32	65	132	265	532	1053
	用途例	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合							
0.3M	640 × 480	-	151	193	393	793	1592	3192	6319
	用途例	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合							

ストロボモードの選択

目的に合わせて4種類のストロボモードから選択できます。ボタンを押すごとにストロボモードが切り換わります。

- **ストロボ撮影可能距離（AUTO モード 時）**
  約1.0m～2.0m

- ストロボ発光時、ストロボは数回発光します（予備発光、本発光）。
- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して、画像に白点が写ることがあります。発光禁止モードでの撮影をお試しください。
- LED ランプ（赤）が点滅しているときは、ストロボ充電中です。ストロボ充電中は撮影できません。
- 電池残量が少なくなると、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- 暗いところ、あるいは背景が暗いところで、発光禁止モードで撮影すると、シャッタースピードが遅くなるため、液晶モニターに“ ”手ブレ警告が表示されます。

オートモード（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて自動的にストロボが発光します。

赤目軽減モード

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影前にストロボがプレ発光した後、撮影のためのストロボが発光します。

◆ 赤目現象について ◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これはストロボ光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減モードを積極的にご利用ください。
赤目軽減モードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などすると、より効果的です。

強制発光モード

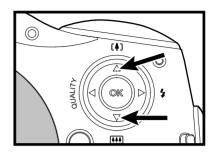
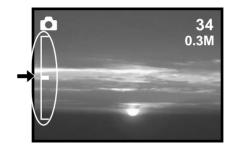
窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で、適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボが発光します。

発光禁止モード

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定したホワイトバランス（→27ページ）が働き、周囲の光の雰囲気を残しつつ、自然な色に撮影できます。

暗いところ、あるいは背景が暗いところで撮影すると、シャッタースピードが遅くなるため、液晶モニターに“![手ブレ]”手ブレ警告が表示されます。AUTO モードなどの使用をおすすめします。

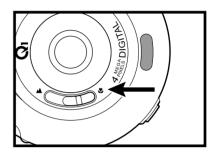
デジタルズーム

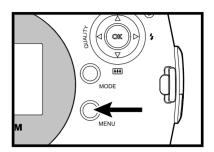
デジタルズームを使うと、被写体を大きく写せます（2倍、3倍、4倍）。
ただし、拡大するほど、画質が粗くなります。
被写体を大きく写したいときは、[🌲]（▲）ボタンを押します。
広い範囲を写したいときは、[🌲🌲🌲]（▼）ボタンを押します。

ズームバーの "■" の位置でズーム状態が分かります。

近接モード

近接モードに切り換えると、近距離撮影できます。

ストロボモードをオートモード、赤目軽減モード、強制発光モードに設定しているときは、自動的に発光禁止モードになります。

- **撮影可能距離**
  約 60cm～100cm

1. **MODE**ボタンを押して、を選択します。
2. 近接モード切り換えスイッチを側に合わせます。
   : 液晶モニターに “” が表示され、近距離撮影できます。
   : 近接モードはキャンセルされ、通常モードに戻ります（→18ページ）。

静止画撮影メニューの操作

1. 静止画撮影モードにし、**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2. ◀▶ボタンを押して、変更したいメニューを選択します。

3. ▲▼ボタンを押して、設定したい項目を選択します。
4. **OK**ボタンを押して、決定します。

撮影モード時に変更できるメニューは次の通りです。

① 撮影モード

② アカルサ（露出補正）

③ ホワイトバランス（光源選択）

④ 各種設定

撮影モード

静止画撮影モードと動画撮影モードを切り換えます。

アカルサ（露出補正）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲：**
  -2.0EV～+2.0EV（1/3 (0.3) EV ステップ）

次のような状態では無効になります。

- ストロボモードをオートまたは赤目軽減モードに設定し、ストロボを発光したとき
- 暗い場所で、ストロボモードを強制発光モードに設定して撮影したとき

◆ 適正な明るさを得るには ◆

適正な明るさを得るには、撮影された画像の明暗の度合いにより、露出補正量を調節してください。

- **被写体が白っぽく撮影される**
  設定値を-（マイナス）補正にして試してください。全体が暗めに撮影されます。
- **被写体が暗い感じに撮影される**
  設定値を+（プラス）補正にして試してください。全体が明るめに撮影されます。

露出補正の目安

- 逆光の人物撮影：+0.7EV～+1.7EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：+1.0EV
- 画面内を空の部分が大きく占める場合：+1.0EV
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：-0.7EV
- 常緑樹または色の濃いはなど反射率が低い場合：-0.7EV

ホワイトバランス（光源選択）

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影したいときに設定を変更します。
“AUTO”時、人物の顔のアップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスにならない場合があります。その場合、光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

AUTO : 自動調整
☀ : 晴れた屋外での撮影
⛅ : 日陰での撮影
蛍 : 蛍光灯下での撮影
☼ : 電球、白熱灯下での撮影

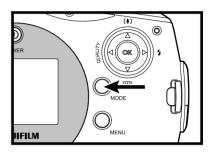
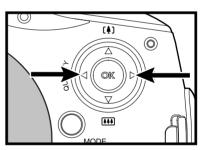
ストロボ発光時のホワイトバランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合、発光禁止モードにしてください。

各種設定

撮影画像表示、パワーセーブ、ビープ、言語などの変更、液晶モニターの明るさの調節、日時の変更など、カメラの設定を変更できます（→44ページ）。

▶ 画像の再生

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像（ファイル）を再生します。
  * 内蔵メモリの画像（ファイル）の再生などの操作はできません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像（ファイル）を再生します。

1. **MODE**ボタンを押して、▶再生モードを選択します。

2. ▶ボタンで順送り、◀ボタンを逆送りで画像を見ることができます。

- **MODE** ボタンを押して▶再生モードを選択したときは、最後に撮影した画像が再生されます。
- 本機で撮影したものは、本機以外のカメラでは再生できない場合があります。

マルチ再生

9コマの画像が一覧表示されます。見たい画像を探したいときなどに便利です。

1. 1コマ再生中に**OK**ボタンを押します。
2. ▲▼◀▶ボタンを押してカーソル（赤色の枠）を動かし、コマを選択します。
   数回▲ボタンあるいは▼ボタンを押すと、次のページに切り換わります。
3. **OK**ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

再生ズーム

画像の一部を拡大し、細部を確認したいときに使用します。

1. 1コマ再生中に▲▼ボタンを押すと、静止画をズーム（拡大）します。このとき、ズームバーが表示されます。

- ▲ボタンを押すと、4倍まで拡大できます。
- ▼ ボタンを押すと、ズーム倍率は下がります。

2. 再生ズーム中に**OK**ボタンを押すと、見える範囲を移動できます。▲▼◀▶ボタンを押して、見たい位置に表示を移動してください。

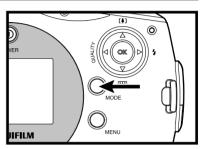
   ズーム画面に戻るには、**OK**ボタンを押します。

- 再生ズーム画面中はマルチ再生できません。

🗑 画像の消去（1コマ消去）

誤ってコマ（画像ファイル）を消去すると、元には戻せません。ご注意ください。
消去したくない重要なコマ（画像ファイル）はパソコンなどにコピーしてください。

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像（ファイル）を消去します。
  ＊内蔵メモリの画像（ファイル）は消去できません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像（ファイル）を消去します。

1. **MODE**ボタンを押して、▶を選択します。

2. **MENU**ボタンを押して、再生メニューを表示します。
3. ◀▶ボタンを押して、🗑消去を選択します。

4. ▲▼ボタンを押して、[1コマ]を選択し、**OK**ボタンを押します。

[戻る]を選択してOKボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

5. [このコマを消去OK？]が表示されます。
6. ◀▶ボタンを押して消去するコマ（ファイル）を選択し、**OK**ボタンを押します。
7. 他のコマも消去するときは、6. の操作を繰り返します。

プロテクト（保護）されたコマは消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（→34 ページ）。

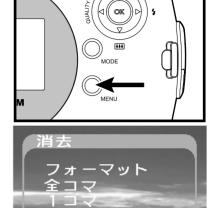
消去するコマがなくなると、[画像がありません]と表示されます。

消去モードをやめたいときは、次のいずれかの操作を行ってください。
- **MENU** ボタンを押して、前画面に戻る。
- **MODE** ボタンを押して、撮影モードにする。

OK ボタンを繰り返し押すと、連続して消去されます。誤って消去しないようにご注意ください。

▶ 再生メニューの操作

1. ▶再生モードにし、MENUボタンを押して、メニューを表示します。

2. ◀▶ボタンを押して、変更したいメニューを選択します。

3. ▲▼ボタンを押して、設定したい項目を選択します。
4. OKボタンを押して、決定します。

再生モード時に変更できるメニューは次の通りです。

① 消去

② プロテクト（保護）

③ プリント予約（DPOF）

④ カードへコピー

⑤ 赤外線送信

⑥ 各種設定

消去

誤ってコマ(画像ファイル)を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ(画像ファイル)はパソコンなどにコピーしてください。

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像(ファイル)を消去・フォーマットします。
  * 内蔵メモリの画像(ファイル)は消去できません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像(ファイル)を消去・フォーマットします。

1コマ消去(→ 30 ページ)

選択したコマ(画像ファイル)だけを消去します。

プロテクト(保護)されたコマ(画像ファイル)は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください。

OK ボタンを繰り返し押すと、連続して消去されます。誤って消去しないようにご注意ください。

全コマ消去

プロテクトされていないすべてのコマ(画像ファイル)を消去します。消去したくない重要なコマはパソコンなどにコピーしてください。

液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

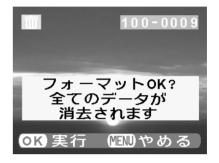
プロテクト(保護)されたコマ(ファイル)は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください。

フォーマット

内蔵メモリ、または **xD-ピクチャーカード** をカメラ用に初期化（フォーマット）します。

- カメラに **xD- ピクチャーカード** が入っているときは、**xD- ピクチャーカード** をフォーマットします。
  *内蔵メモリはフォーマットできません。
- **xD- ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリをフォーマットします。

液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

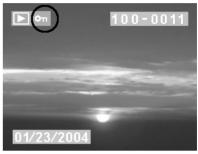
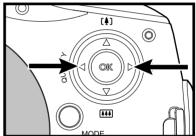
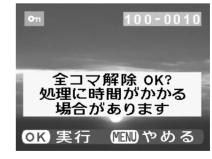
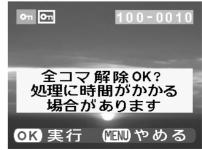
プロテクトされているコマ（画像ファイル）を含むすべてのコマ（画像ファイル）を消去しますので、消去したくない重要なコマ（画像ファイル）はパソコンなどにコピーしてください。

戻る

消去･フォーマットせず、1コマ再生に戻ります。

プロテクト（保護）

コマ（画像ファイル）を誤って消去しないようにプロテクト（保護）できます。

> - カメラに **xD- ピクチャーカード** が入っているときは、**xD- ピクチャーカード** の画像（ファイル）をプロテクトします。
>   *内蔵メモリの画像（ファイル）はプロテクトできません。
> - **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像（ファイル）をプロテクトします。

プロテクトすると、再生画像にO┳が表示されます。

設定/解除

選択したコマ（画像ファイル）だけをプロテクトしたり、プロテクトを解除します。

1. ◀▶ボタンを押して、プロテクトしたいコマを選択します。

2. 液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

全コマ設定

すべてのコマ（画像ファイル）をプロテクトします。

液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

全コマ解除

すべてのコマ（画像ファイル）のプロテクトを解除します。

液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

プリント予約（DPOF）

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では、上記の指定情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録できます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** をフジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報とおりの高画質プリントサービスが受けられます。一回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていませんので、ご注文時にご確認ください。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

◆ デジカメプリントのご注文について ◆

DPOF指定しなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でプリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定が可能です（お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単にできます）。詳しくはお店にご確認ください。

DPOF指定する場合も、お店で「日付あり」を指定する場合も、撮影時にカメラの日時が正しく設定されていることが必須です。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。

日付あり設定

日付入りでプリントします。

日付あり設定をすると、再生画像に“◷”が表示されます。

日付なし設定

日付を入れないでプリントします。

> 内蔵メモリに記録されたコマはプリント予約できません。**xD-ピクチャーカード** にコピーしてから（→37ページ）、プリント予約してください。

1. ◀▶ボタンを押して、プリント予約したいコマ（画像ファイル）を選択します。

すでにプリント予約が設定されていると、"🖶"が表示されます。

2. ▲▼ボタンを押して、プリント枚数を選択します。
   00: プリントしない
   01: 1枚プリント
   99 枚まで設定可能です。

3. OKボタンを押して、設定します。
   続けて設定する場合は、1.2を繰り返します。

   他の機種でプリント予約されたコマ（ファイル）がある場合は、「予約再設定ＯＫ？」と表示されます。
   再設定すると、以前の設定内容はすべて消去され、新しい設定が記録されます。

全コマ解除

全コマのプリント予約を解除します。
液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。

- 1コマずつプリント予約を解除したいときは、
1. プリント予約を解除したいコマ（画像ファイル）を選択。
2. プリント枚数を0枚に設定。
3. **OK**ボタンを押す。

カードへコピー

内蔵メモリに記録されたデータを **xD-ピクチャーカード** に一括コピーします。

この操作を行うときは､カメラに **xD-ピクチャーカード** を入れてください。

- コピーしたいデータを選択して、一部だけをコピーすることはできません。
- プロテクトなどの情報もコピーされます。
- カードへコピー機能は xD カードに新しいフォルダを作成してコピーします。xD カードに 999_**** フォルダがあると 「コマ NO. の上限です」 と表示されカードへコピーができません。 その場合には 999_**** フォルダをパソコンに移動したあと、カードへコピーを実行してください。

赤外線送信機能

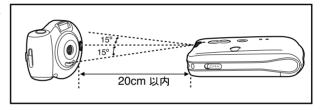
フジフイルム「インスタックスデジタルモバイルプリンターMP-100」など、赤外線通信可能なプリンターで、USBケーブルを使わずにプリントできます。

赤外線送信機能を使うときには、電池残量が十分あるかを確認してください。プリンターなどとの通信中に電池が切れると、内蔵メモリまたは**xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。

1. ◀▶ボタンを押してプリントしたいコマを選択し、**OK**ボタンを押します。

❗ 途中で操作をやめたいときは…
MENU ボタンを押して、前画面に戻る

2. 赤外線送信部を受信機器の赤外線ポートに向けます。

❗ 赤外線通信可能な範囲は約 20cm 以内、左右各 15° です。

3. 液晶モニターのコメントを確認し、**OK**ボタンを押します。

❗ 動画、本機以外で撮影した WIDE（ワイド）画像および 2304x1728 ピクセルを超える画像は送信できません。

4. [送信中]が消えるまで、カメラの赤外線送信部を受信機器の赤外線ポートに向けたままにしてください。
   - 赤外線送信開始からプリント完了までの時間は約35秒～50秒です。
     * 撮影画像やクオリティーによって若干異なる場合があります。
   - 撮影画像サイズに関わりなく、赤外線送信時の画像サイズはVGA（640×480ピクセル）にリサイズされます。

- NP-1をご使用の方へ
  チェキプリンターNP-1の機番（シリアルナンバー）4010001～4041451は赤外線通信がNTTドコモの携帯電話対応のみとなっており、本機との互換性はありません。本機に対応するためにはバージョンアップが必要です。お近くの富士フイルムサービスステーションにお持ちいただければ、有償にてバージョンアップさせていただきます。なお、すでに富士フイルムサービスステーションでバージョンアップいただいたものは、改めてバージョンアップする必要はありません。

❗ 詳しくは受信機器の使用説明書をご覧ください。

各種設定

撮影画像表示、パワーセーブ、ビープ、言語などの変更、液晶モニターの明るさ調節、日時の変更など、カメラの設定を変更できます(→44ページ)。

🎥 動画の撮影

- **撮影形式：Motion JPEG 形式（音声なし）**
- **フレームレート：15フレーム/秒**

QUALITY ボタンを押すと、ピクセル（画像画素数）を切り換えられます（→ 20 ページ）。

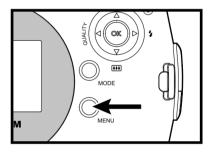
- **ピクセルサイズ切り換え式**

液晶モニター	ピクセル	最長連続撮影時間	用途例
320	320×240	20秒	画質を優先する場合
160	160×120	80秒	記録時間を優先する場合

* 内蔵 16MB メモリ使用時、最長連続撮影時間は内蔵 16MB メモリの空き容量によって変わります。

本機で撮影した動画は本機以外では再生できない場合があります。

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** に記録されます。
  ＊ 内蔵メモリには記録できません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリに記録されます。

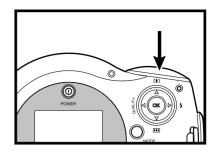
1. **MODE**ボタンを押して、📷撮影モードを選択します。
2. **MENU**ボタンを押します。

3. ◀▶ボタンを押して、📷撮影モードを選択します。
4. ▲▼ボタンを押して[🎥動画]を選択し、**OK**ボタンを押します。

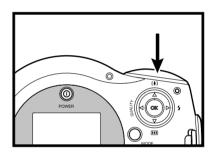
液晶モニターに撮影可能時間が表示されます。

近接モードを選択できます（→ 24 ページ）。

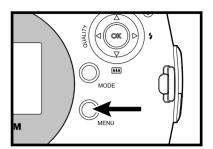
撮影を開始する前に ▲▼ ボタンを押すと、ズーム倍率を変更できます。
撮影開始後は変更できませんので、撮影前に行ってください。

5.　シャッターボタンを押すと、撮影が開始されます。

- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 液晶モニターの明るさや色などは、撮影前と動画記録中で異なる場合があります。

6.　撮影中は液晶モニターに "● REC" が表示され、右上に残り時間がカウントダウンします。

7.　撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了し、内蔵メモリあるいは **xD-ピクチャーカード** に記録します。

- 残り時間がなくなると、自動的に撮影が終了し、内蔵メモリあるいは **xD- ピクチャーカード** に記録されます。

動画撮影メニューの操作

1. 撮影モードにし、**MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2. ◀▶ボタンを押して、変更したいメニューを選択します。

3. ▲▼ボタンを押して、設定したい項目を選択します。
4. **OK**ボタンを押して、決定します。

撮影モード時に変更できるメニューは次の通りです。

① 撮影モード

② 各種設定

撮影モード

静止画撮影モードと動画撮影モードを切り換えます。

各種設定

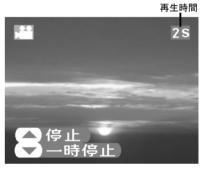
撮影画像表示、パワーセーブ、ビープ、言語などの変更、液晶モニターの明るさ調節、日時の変更など、カメラの設定を変更できます (→44ページ)。

▶ 動画の再生

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像を再生します。
  ＊ 内蔵メモリの画像（ファイル）の再生などの操作はできません。
- **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像を再生します。

1. **MODE**ボタンを押して、▶を選択します。
2. ◀▶ボタンを押して、動画ファイルを選択します。

マルチ再生では動画を再生できません。**OK** ボタンを押して、１コマ再生にしてください。

3. ▼ボタンを押して、再生開始します。

◆ 動画再生操作方法 ◆

	操作	説明
再生	▼	再生を開始します。 ＊再生が終了すると、自動的に停止します。
一時停止	▼	再生中に操作すると、一時停止します。 一時停止中にもう一度押すと、一時停止が解除されます。
停止	▲	再生を停止します。 ＊停止中に◀▶ボタンを押すと、次のファイルに送られます。

高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦筋が入ることがありますが、故障ではありません。

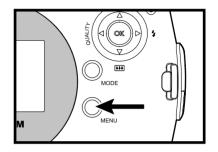
◆ 動画ファイルの再生について ◆

- 本機以外で記録した動画は再生できない場合があります。
- パソコンで再生する場合、メモリ内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

各種設定の変更

カメラの設定を変更できます。

撮影モード / 再生モードに関係なく、MENU ボタンを押すと、各種設定を変更できます。

1. **MENU**ボタンを押して、メニューを表示します。

2. ◀▶ボタンを押して、各種設定を選択します。

3. ▲▼ボタンを押して、変更したい項目を選択します。
4. **OK**ボタンを押して、決定します。

静止画撮影モード

再生モード

動画撮影モード

SET-UP（セットアップ）

1. ▲▼ボタンを押して、変更したい項目を選択します。
2. ◀▶ボタンを押して、設定したい項目を選択します。
3. **OK**ボタンを押して、決定します。

項目	表示	工場出荷時	内容
撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうかを設定します。 [ON]にすると、撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	30秒/1分/ 3分/OFF	3分	電池の消耗を抑えるため、一定時間操作しないときに自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ビープ	ON/OFF	ON	操作音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。
言語/LANG.	日本語/ENGLISH/ DEUTSCH /FRANÇAIS /ESPAÑOL/ITALIANO /中文	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。
コマNO.	連番/新規	連番	連番: フォーマット（初期化）しても、コマNO.はフォーマット前から続きの番号を使用します。 新規: フォーマットしたとき、コマNO.を0001から始めます。

モニター明るさ

液晶モニターの明るさを調節できます。

1. ◀▶ボタンを押して、設定したい明るさを選択します。
2. **OK**ボタンを押して、決定します。

日時設定

日付、時刻の修正、日付の表示形式の変更ができます（→15ページ）。

リセット

日時設定、言語/LANG. 以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

画像をパソコンに取り込む

画像をパソコンに取り込むときは、次のステップを行います。

Step 1:　USB ドライバをインストールする（Windows 98/98 SE）（→48ページ）
Step 2:　カメラをパソコンに接続する（→49ページ）
Step 3:　画像をパソコンに取り込む（→51ページ）

動作環境

Windows

適応機種：USBインターフェース（1.1仕様）が標準装備されたDOS V機
対応OS：Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP日本語版
CPU：Pentium 200MHz以上を推奨
メモリ：64MB以上
ハードディスクの空き容量：128MB以上
その他：CD-ROM読み込み可能ドライブ（インストール用）

Macintosh

対応機種：USBインターフェース（1.1仕様）が標準装備されたPower Macintosh G3/G4
対応OS：Mac OS 9.0〜9.2.2日本語版、Mac OS X（10.0.4〜10.3.1）
メモリ：64MB以上
ハードディスクの空き容量：128MB以上
その他：CD-ROM読み込む可能ドライブ（インストール用）

- USB ドライバ、FinePixViewer や Acrobat Reader をインストールするときは、使用中のすべてのアプリケーションを終了してから行ってください。
- Windows 2000 Professional/XP の場合、インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント（例：Administrator）でログインしてください。
- 自作パソコンや OS をアップデートしたパソコンは動作保証外です。

カメラをパソコンに接続するときには、電池残量が十分あるかを確認してください。パソコンなどと通信中に電池が切れると、内蔵メモリまたは **xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。

- パソコンなどと通信中に電池カバーを開けないようにしてください。

Step 1：USBドライバをインストールする (Windows 98/98 SE)

初めてカメラをパソコンに接続する前に、付属のCD-ROMを使って、USBドライバをパソコンにインストールします。

Windows Me/2000 Professional/XP、Macintosh をご使用の方は必要ありません。

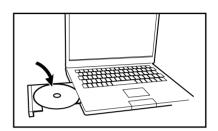
USBドライバのインストールが完了するまで、カメラをパソコンに接続しないでください。

Windows 98/98 SE

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーを手動で起動するには、
[マイコンピュータ]→CD-ROM[FINEPIX]→[USBDriver]→[SETUP.exe]をダブルクリックしてください。

自動的にオープニング画面が表示されます。

2. [USB Driver]をクリックします。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［次へ］をクリックします。

5. ［終了］をクリックします。

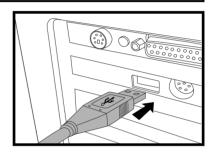
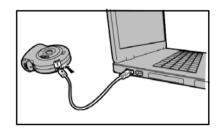
Step 2：カメラをパソコンに接続する

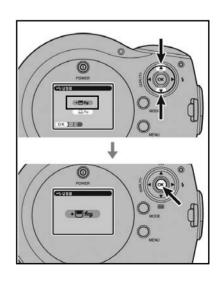
- Windows 98/98 SEをご使用の方は、カメラをパソコンに接続する前にUSBドライバをインストールしてください（→48ページ）。
（Windows Me/2000 Professional/XP、Macintoshをご使用の方はUSBドライバのインストールは必要ありません）

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像を取り込みます。
  * 内蔵メモリの画像は取り込めません。
- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像を取り込みます。

カメラをパソコンに接続するときは、電池残量が十分あるかを確認してください。パソコンなどと通信中に電源が切れると、内蔵メモリまたは **xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。

パソコンなどと通信中に電池カバーを開けないようにしてください。

1. 付属の専用USBケーブルをパソコンに接続します。

2. 付属の専用USBケーブルのもう一方をカメラに接続します。

3. [▣⇋]USB設定画面が表示されます。

4. ▲▼ボタンを押して[▣⇋]を選択し、**OK**ボタンを押します。

◆ カメラをパソコンに接続するときのご注意 ◆

- 専用USBケーブルを接続するときは、端子の向きに気をつけて、奥までしっかりと差し込んでください。正しく接続されていないと、正常に動作しません。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合、どのポートに接続しても構いません。
- カメラとパソコンは、専用USBケーブルで直接接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- データ通信中はUSBケーブルを取り外したり、**xD-ピクチャーカード** を出し入れしないでください。ファイルが破壊される可能性があります。
- Windows XPおよび Mac OS Xでは、初回時に自動起動の設定が必要です。
- Windowsをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- USB接続時はパワーセーブしません。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- **xD-ピクチャーカード** の交換、**xD-ピクチャーカード** を取り出しは、カメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。

Step 3：画像をパソコンに取り込む

- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っているときは、**xD-ピクチャーカード** の画像を取り込みます。
  * 内蔵メモリの画像は取り込めません。
- カメラに **xD-ピクチャーカード** が入っていないときは、内蔵メモリの画像を取り込みます。

USBケーブルでカメラがパソコンと接続され、[]が選択されていることを確認してください。

Windows

1. [新しいハードウェア]ウィザード、あるいは[新しいハードウェアが見つかりました]というヒントが表示されます。
   設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
   2回目以降の接続ではこの手順は必要ありません。

2. Windows XPの場合、［自動再生］が表示されたら、［何もしない］を選択し、[OK]をクリックします。

3. ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。
4. ［リムーバルディスク］をダブルクリックします。
   パソコンはカメラを［リムーバルディスク］として認識します。

5. ［DCIM］をダブルクリックします。

6. ［100_FUJI］をダブルクリックします。

7. ファイルをダブルクリックして画像を確認したり、ファイルをコピー＆ペーストあるいはドラッグ＆ドロップして画像ファイルをパソコンに保存してください。

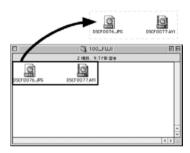
Macintosh

1. デスクトップの［名称未設定］または［NO NAME］をダブルクリックします。

   パソコンはカメラを［名称未設定］または［NO NAME］として認識します。

2. ［DCIM］をダブルクリックします。

3. ［100_FUJI］をダブルクリックします。

4. ファイルをダブルクリックして画像を確認したり、ファイルをコピー＆ペーストあるいはドラッグ＆ドロップして画像ファイルをパソコンに保存してください。

カメラをパソコンから取り外す

カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了してから行います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

1. Windows Meの場合
   [マイコンピュータ]→[リムーバルディスク]を右クリックし、
   [取り出し]をクリックします。

2. タスクバーの[ハードウェアの安全な取り出し]を左クリックします。
3. メニューの上をクリックします。
4. [ハードウェアの取り外し]が表示されます。
   [OK]か[×]をクリックし、カメラをパソコンから取り外します。

Macintosh

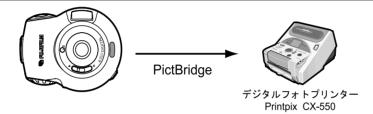
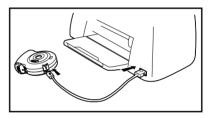
デスクトップの[名称未設定]を[ゴミ箱]にドラッグ＆ドロップし、カメラをパソコンから取り外します。

カメラとプリンターを直接つないでプリントする（PictBridge機能）

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターがあれば、パソコンを使わず、カメラとプリンターをUSBケーブルで直接つないでプリントできます。

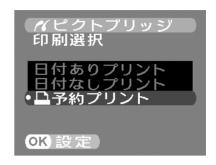
- 動画はプリントできません。
- カメラで撮影した画像以外は、PictBridge 機能を使ってプリントできない場合があります。
- 本機では、用紙サイズや印字品質などのプリンターの設定はできません。また、プリンターによっては使えない機能があります。

カメラをプリンターに接続するときには、電池残量が十分あるかを確認してください。プリンターと通信中に電源が切れると、内蔵メモリまたは **xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。

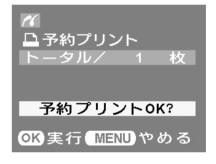
- プリンターなどと通信中に電池カバーを開けないようにしてください。

1. USBケーブルを使って、カメラとPictBridge対応プリンターを接続します。

2. [⇋]USB設定画面が表示されます。

   ▲▼ボタンを押して[⇋]を選択し、**OK**ボタンを押します。

<カメラでプリント予約（DPOF）を設定してプリントする>

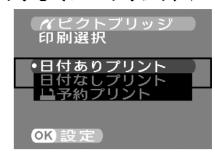
3. ▲▼ボタンを押して[🖶予約プリント]を選択し、**OK**ボタンを押します。

- [予約がありません] と表示された場合、プリント予約されていません。
- [🖶予約プリント] を行うときは、事前にカメラでプリント予約を行ってください（→ 35 ページ）。
  ただし、プリント予約（DPOF）は **xD- ピクチャーカード** 使用時のみ設定可能です。
- 日付プリントに対応していないプリンターの場合、プリント予約で [日付あり設定] に設定しても日付が印字されません。

4. 液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。
   プリンターにデータが転送され、プリント予約したコマが連続してプリントされます。

- 途中で操作をやめたいときは、**MENU** ボタンを押して、前画面に戻ってください。プリンターによっては、すぐにプリントを中 止できない場合やプリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、再度入れ直してください。

＜プリント予約（DPOF）を使わず、コマをしてしてプリントする（1コマプリント）＞

3. ▲▼ボタンを押して[日付ありプリント]または [日付なしプリント]を選択し、**OK**ボタンを押します。
   [日付ありプリント]: 日付入りでプリントします。
   [日付なしプリント]: 日付なしでプリントします。

日付プリントに対応していないプリンターの場合、[日付あり設定] に選択しても日付が印字されません。

日付あり設定

4 ◀▶ボタンを押して、プリントしたいコマを選択します。

5. ▲▼ボタンを押して、プリント枚数を選択します。

プリントしないコマは、プリント枚数を“0 枚”に設定します。

6. **OK**ボタンを押して、設定します。

7. 液晶モニターのコメントを確認して、**OK**ボタンを押します。
   プリンターにデータが転送され、プリントされます。

途中で操作をやめたいときは、**MENU** ボタンを押して、前画面に戻ってください。プリンターによっては、すぐにプリントを中止できない場合やプリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、再度入れ直してください。

FinePixViewerのインストール

● **複数の FinePixViewer をお持ちの方へ**

FinePixViewerにはいくつかのバージョンがあります。
異なるバージョンのFinePixViewerのCD-ROMがある場合、次のようにインストールしてください。

● **種類の違う FinePixViewer をお持ちの場合**

　例）SX4.1aとAX4.2b
両方ともインストールしてください。
バージョンの古い方（数字の小さい方）からインストールしてください。
→①SX4.1a　②AX4.2b　の順でインストール

● **バージョンの違う FinePixViewer をお持ちの場合**

　例）AX4.0aとAX4.2b
バージョンの新しい方（数字の大きい方）をインストールしてください。
→AX4.2bをインストール

● **子バージョンの違う FinePixViewer をお持ちの場合**

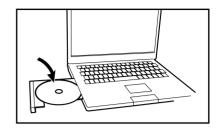
　例）AX4.2aとAX4.2b
子バージョンのアルファベットの大きい方をインストールしてください。
→AX4.2bをインストール

Windows

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

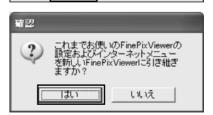
インストーラーを手動で起動するには、
[マイコンピュータ]→ CD-ROM[FINEPIX] → [FinePixViewer] → [SETUP.exe] をダブルクリックしてください。

自動的にオープニング画面が表示されます。

2. [FinePixViewer]をクリックします。

3. ［FinePixViewerのインストール］をクリックします。

4. [OK]をクリックします。

5. ソフトウェアの使用許諾契約の内容をお読みの上、[同意します]をクリックします。

すでにFUJIFILM USB Driver、FinePixViewerがインストールされている場合、次の画面が表示されます。
すでにインストールされているFUJIFILM USB Driver、FinePixViewerを削除（アンインストール）し、新しいFinePixViewerをインストールします。
[OK]をクリックしてください。
前のFinePixViewerの設定を引き継ぐ場合、[はい]をクリック

6. [次へ]をクリックします。
FUJIFILM USB Driver、FinePixViewerのインストールを行います。

7. インストール先のフォルダを確認して、[次へ]をクリックします。

8. FinePixViewerのインストールが終わると、RAW FILE CONVERTER LEのインストール画面が表示されます。
RAW FILE CONVERTER LEは、CCD-RAWファイルに対応したカメラのデータをExif-TIFF（RGB）画像ファイルに変換するソフトウェアで、本機では使用しません。
[キャンセル]をクリックします。

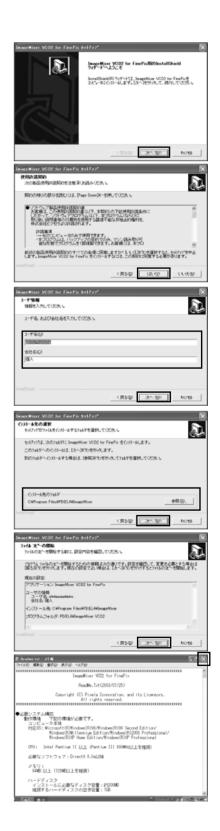
9. [次へ]をクリックします。
ImageMixer VCD2 for FinePixのインストールを行います。

10. 使用許諾契約の内容をお読みの上、[はい]をクリックします。

11. ユーザ名を入力し、[次へ]をクリックします。

12. インストール先のフォルダを確認し、[次へ]を確認します。

13. 現在の設定の内容を確認し、[次へ]をクリックします。

14. 「Read Me」画面を閉じます。

15. [完了]をクリックします。

16. [OK]をクリックします。

17. [次へ]をクリックします。
WinCDR Lite for Dataのインストールを行います。

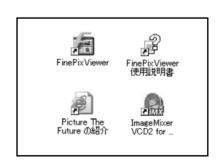
18. 使用許諾契約の内容をお読みの上、[はい]をクリックします。

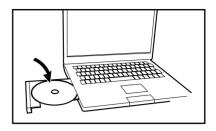
19. [完了]をクリックします。

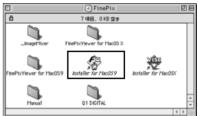
20. [再起動]をクリックします。
コンピュータが再起動します。

21. 再起動後、右の画面が表示されます。
すぐにFinePixViewerを使用しない場合は、[閉じる]をクリックします。

22. インストールが完了すると、デスクトップにショートカットが表示されます。

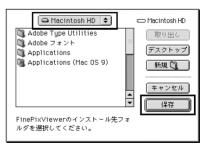
FinePixViewer の使用説明書をご覧になるには、
・デスクトップの [FinePixViewer の使用説明書] をダブルクリックまたは
・FinePixViewerの[ヘルプ]→[FinePixViewerの使用説明書]を選択

Mac OS 9.2.2

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM[FinePix]をダブルクリックします。

3. [Installer MacOS9]をダブルクリックします。

4. [FinePixViewerのインストール]をダブルクリックします。

5. [OK]をクリックします。

6. ソフトウェア使用許諾契約の内容をお読みの上、[同意します] をクリックします。

7. インストール先を選択し、[保存]をクリックします。
FinePixViewerのインストールを行います。
FinePixViewerのインストールが終わると、RAW FILE CONVERTER LE、ImageMixer VCD2のインストールを行います。

8. [再起動]をクリックします。
コンピュータの再起動を行います。

9. インストールが完了すると、デスクトップにエイリアスが表示されます。

- Mac OS 9.2.2の場合、FinePixViewerのインストール終了後、続けてAcrobat Readerをインストールできます。

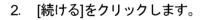
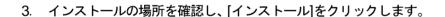
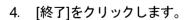
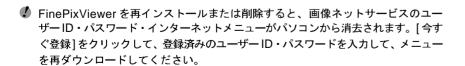
＊ すでにAcrobat Readerがインストールされている方はインストールの必要はありません。

1. コンピュータの再起動が終わると、右の画面が表示されます。
[Acrobat Readerのインストール]をクリックします。

2. [続ける]をクリックします。

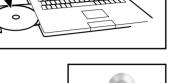
3. インストールの場所を確認し、[インストール]をクリックします。

4. [終了]をクリックします。

FinePixViewer を再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザーID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。[今すぐ登録] をクリックして、登録済みのユーザーID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

Mac OS X

コンピュータの管理者アカウントでログインしてください。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM [FinePix]をダブルクリックします。

3. [Installer for MacOSX]をダブルクリックします。

4. [FinePixViewerのインストール]をクリックします。

5. 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

6. ライセンスの内容をお読みの上、[同意]をクリックします。

7. [続ける]をクリックします。

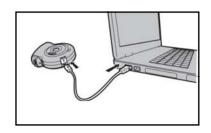
8. インストールの場所を確認し、[インストール]をクリックします。
FinePixViewerのインストールを行います。
FinePixViewerのインストールが終わると、ImageMixer VCD2のインストールを行います。

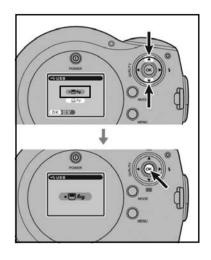
9. [終了]をクリックします。

10. インストールが完了すると、デスクトップにエイリアスが表示されます。

FinePixViewerの使用説明書をご覧になるには、FinePixViewerの[ヘルプ]→[FinePixViewer]の使い方を選択してください。
* Mac OS 9をご使用の方は、Acrobat Readerが必要です（→69ページ）。

FinePixViewerを使用して、画像をパソコンに取り込む

1. カメラとパソコンを付属の専用USBケーブルで接続します（→49ページ）。

2. カメラの▲▼ボタンを押して、[ ]を選択します。

3. OKボタンを押します。

Windows

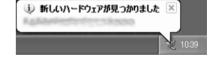
Windows XPの場合のみ、4、5の操作を行います。

4. カメラとパソコンを接続すると、[新しいハードウェアが見つかりました]というヒントが表示されます。
設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

   2回目以降の接続では、この手順は必要ありません。

5. [自動再生]画面が表示されます。

- **実行する動作の一覧にFinePixViewerがある場合**
[画像を表示するFinePixViewer使用]を選択し、[OK]をクリックします。

  [常に選択した動作を行う]のチェックボックスがある場合は、チェックマークを入れます。

- **実行する動作の一覧にFinePixViewerがない場合**
[何もしない]を選択し、[OK]をクリックします。

  [常に選択した動作を行う]のチェックボックスがある場合は、チェックマークを入れます。

6. FinePixViewerが自動的に起動し、[画像の保存ウィザード]が表示されます。
   [次へ]をクリックします。
   画像の保存を開始します。

7. 画像の保存後、カメラを取り外すときは、[取り外す]をクリックします。

8. 次に行いたいメニューをクリックします。

9. 8で[画像の一覧表示する]を選択すると、画像の一覧画面が表示されます。

Mac OS 9.2.2/X

4. 自動的にFinePixViewerが起動し、[カメラ/メディアに画像が見つかりました。取り込みを行いますか？]と表示されます。
   [OK]をクリックします。
   画像の保存を開始します。

5. 画像の保存後、カメラを取り外すときは、[OK]をクリックします。

6. [OK]をクリックします。

7. 画像の一覧画面が表示されます。

! FinePixViewer をインストールすると、一緒にインストールされる Exif Launcher の機能により、カメラ接続時に FinePixViewer が自動的に起動します。

! FinePixViewer が自動せず、なおかつ [名称未設定] アイコンが表示されない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決しない場合は、「困ったときは（→ 91 ページ）」をご参照ください。

◆ Mac OS X では、次の機能に対応していません ◆

- AVI形式の動画の再生（バージョン10.0.4のみ未対応）
- 一括フォーマット変換（静止画のみ対応）
- FinePix CD Albumの作成
- ソフトウェアアップデート:インターネットメニューの[サポート]からアップデートの情報を得ることができます。
- オンラインヘルプ:インストールしたフォルダ内の[Japanese.pdf]を開くことでヘルプを利用できます。
- RAW FILE CONVERTER LEの起動（ボタンによる起動は未対応）

◆ **FinePixViewer の使い方を読むには…** ◆

FinePixViewerのオンラインヘルプのFinePixViewerの使い方が記載されています。

1. FinePixViewerを起動します。
2. [ヘルプ]メニューの[FinePixViewerの使い方]を選択します。
   - Windowsの場合
     表示するには、Internet Explorer 4.01以降またはNetscape Communicator 4.7以降が必要です。
   - Macintoshの場合
     表示するには、Adobe System社のAcrobat Readerが必要です（→69ページ）。
     ! Mac OS X 10.3 をお使いの方はプレビューをご使用ください。

! 画像ネットサービス、メール添付機能を使用する場合は、インターネット接続し、メールが送受信できる環境が必要です。

! 弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。

! オンラインショッピング / 各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金・サービス料金が請求されます。

Acrobat Readerのインストール

付属のCD-ROM内の使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe System社のAcrobat Readerが必要です。お手持ちのパソコンにAcrobat Readerがインストールされていないときは、Acrobat Readerをインストールしてください。

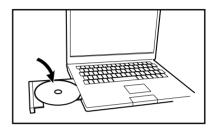
❗ すでに最新のバージョンがインストールされている場合は、この手順は不要です。

Windows

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

   ❗ インストーラーを手動で起動するには
   CD-ROM[FINEPIX]→[Acrobat]→[SETUP.exe]をダブルクリックします。

   自動的にオープニング画面が表示されます。

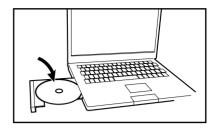
2. [Acrobat Reader]をクリックします。

3. [次へ]をクリックします。

4. インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

5. [OK]をクリックします。

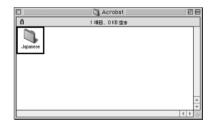
6. インストールが完了すると、デスクトップにショートカットが表示されます。

Mac OS 9.0～9.2

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM［FinePix］をダブルクリックします。

3. [Q1 DIGITAL]をダブルクリックします。

4. [Acrobat]をダブルクリックします。

5. [Japanese]をダブルクリックします。

6. [Japanese Reader Installer]をダブルクリックします。

7. [続ける]をクリックします。

8. インストールの場所を確認し、[インストール]をクリックします。

9. [終了]をクリックします。

カメラの使用説明書のインストール

付属のCD-ROM内の使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe System社のAcrobat Readerが必要です。お手持ちのパソコンにAcrobat Readerがインストールされていないときは、Acrobat Readerをインストールしてください。

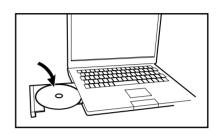
❗ すでに最新のバージョンがインストールされている場合は、この手順は不要です。

Windows

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

   ❗ インストーラーを手動で起動するには
   CD-ROM[FINEPIX]→[Manual]→[SETUP.exe]をダブルクリックします。

   自動的にオープニング画面が表示されます。

2. [User's Manual]をクリックします。

3. [次へ]をクリックします。

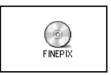
4. [次へ]をクリックします。

5. [終了]をクリックします。

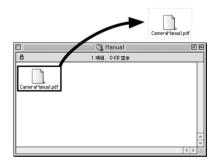
6. インストールが完了すると、デスクトップにショートカットが表示されます。

Macintosh

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROM[FinePix]をダブルクリックします。

3. [Q1 DIGITAL]をダブルクリックします。

4. [Manual]をダブルクリックします。

5. [CameraManual.pdf]を保存したい場所にドラッグ＆ドロップでコピーします。

ソフトウェアを削除するには（アンインストール）

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

Windows

1. カメラを取り外します。
2. すべてのアプリケーションを終了します。
3. ファイルをすべて閉じます。
4. [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]あるいは[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
5. [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]が表示されます。
   削除したいソフトウェアを選択して、[追加と削除]をクリックします。
6. 確認画面を確認して、[OK]をクリックします。
   ❗実行すると取り消しはできませんので、慎重に行ってください。
7. 自動的にアンインストールが開始されます。
   アンインストールが完了したら、[OK]をクリックします。

Mac OS 9.0～9.2.2

＜Exif Launcher/FinePixViewer のアンインストール＞

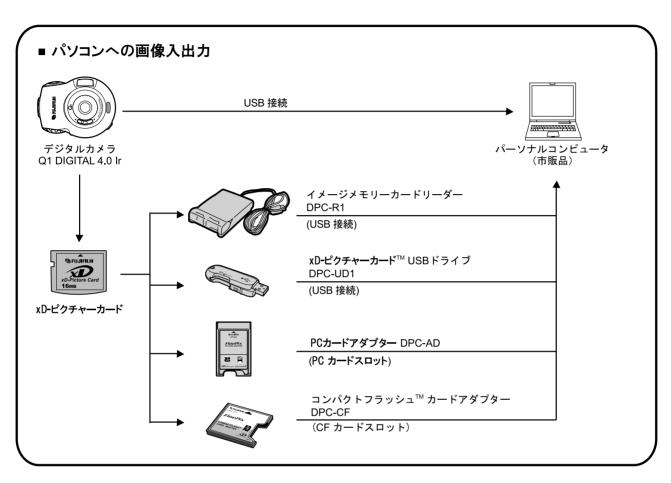
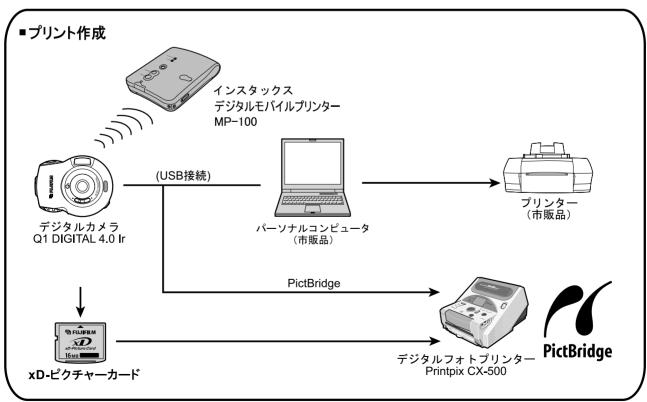
1. FinePixViewerの[設定]→[Exif Launcher]でExif Launcherを終了します。
2. [システムフォルダ]→[起動項目]内の[Exif Launcher]を[ゴミ箱]に入れます。
3. [特別]メニューの[ゴミ箱を空に…]をクリックします。
4. FinePixViewerを終了します。
5. インストールした[FinePixViewer]フォルダを[ゴミ箱]に入れます。
6. [特別]メニューの[ゴミ箱を空に…]をクリックします。

Mac OS X

＜FinePixViewer のアンインストール＞

1. FinePixViewerを終了します。
2. インストールした[FinePixViewer]フォルダを[ゴミ箱]に入れます。
3. [ゴミ箱を空に…]を選択します。

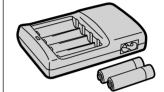
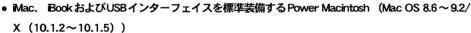
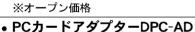
システムアップ機器（別売）

別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、さまざまな用途向けにシステムアップできます。

その他の別売アクセサリーの紹介

使い方については、お使いになるアクセサリーの使用説明書をご覧ください。

＊　最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
　http://fujifilm.jp または http://www.finepix.com/

＊　価格はメーカー希望小売価格です。

● **イメージメモリーカード（xD-ピクチャーカード）** 以下の種類がお使いいただけます。 ・DPC-16 (16MB)　・DPC-32 (32MB)　・DPC-64 (64MB) ・DPC-128 (128MB)　・DPC-256 (256MB)　・DPC-512 (512MB) ※すべてオープン価格	
● **ニッケル水素/ニカド急速充電器デジチャージ340セット（FWB NH 340 E）** 高容量のニッケル水素電池４本と急速充電池デジチャージのセットです。「ニッケル水素 2300」２本を約115分で充電できます。同時に４本までの単３形ニッケル水素電池/ニカド電池の充電が可能です。海外にも使用可能な電圧（AC100~240V）、周波数 (50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。 ※6,480円（税込6,804円） 【急速充電器デジチャージ FNW-D　※4,500円（税込4,725円）】	
● **イメージメモリーカードリーダーDPC-R1** イメージメモリーカード（**xD-ピクチャーカード**、スマートメディア）からパソコンに簡単に画像読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより、高速なファイル転送を行います。 ● **Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP** ● **iMac、iBookおよびUSBインターフェイスを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））** ※オープン価格	
● **PCカードアダプターDPC-AD** **xD-ピクチャーカード** あるいはスマートメディアを PC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE II）として使えます。２種類のメディアのうち、どちらか一方を使用できます。 ● **Windows 95/98/98 SE/2000 Professional/XP** ● **Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）** ※オープン価格	
● **コンパクトフラッシュ™カードアダプターDPC-CF** **xD-ピクチャーカード** を挿入すると、コンパクトフラッシュ™ カード（TYPE I）として使用できます。 ● **Windows 95/98/98 SE/2000 Professional/XP** ● **Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）** ※オープン価格	
● **xD-ピクチャーカード™USBドライブDPC-UD1** **xD-ピクチャーカード** 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SE を除いてドライバのインストールが不要です）。 ● **Windows 98/98 SE/2000 Professional/XP** ● **Mac OS 9.0～9.2/X（10.0.4～10.2.6）** ※オープン価格	

使用上のご注意

ご使用前に、必ず「安全上のご注意」（→97ページ）をお読みの上、正しくご使用ください。

■ 避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、砂辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは、電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、**xD-ピクチャーカード** に水滴がつくことがあります。このようなときは、**xD-ピクチャーカード** を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、**xD-ピクチャーカード** を取り外して保管してください。

■ カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れは、ブロアーブラシでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけてふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の富士フイルムサービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観に変化がなくても、内部の部品の故障の原因になることがあります。

電池についてのご注意

■ 使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池、単3形オキシライド乾電池、単3形ニカド電池やリチウム電池は使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命(使用時間)の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

■ 電池の取り扱いについてのご注意

電池の取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち込んだり保管したりしないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造しないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性(+と-)に注意して、表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池(充電式の電池の場合;充電済みの電池と放電した電池)、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないとき、電池を取り出しておいてください(電池を取り出して放置した場合、各種設定がクリアされます)。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り出しは、カメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地(+10°C以下)では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は、直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に、電池を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には、失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診察を受けてください。

■ 小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器を使用し、急速充電器の使用説明書の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微少電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると、過放電状態になり、充電しても使えなくことがありますので、特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に皮脂などの汚れがあると、撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使い切ってから充電してください。
- お買い上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、撮影可能枚数が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので、故障ではありません。充電して使用することを3〜4回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと、「メモリー効果*」が発生して、早めに電池容量警告が出ることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。

  *　メモリー効果：電池の容量を見かけ上劣化したような特性を示す現象

■ 電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて

ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて、最寄りのリサイクル協力店にある充電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。

[ホームページ]http://www.JBRC.com/

xD-ピクチャーカード ™ についてのご注意

■ **xD-ピクチャーカード について**

デジタルカメラ用に開発された新しい画像記録媒体 **xD-Picture Card**（**xD-ピクチャーカード**）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ **ファイル保持について**

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

＊ お客様または第三者が **xD-ピクチャーカード** の使い方を誤ったとき
＊ カメラやパソコンなどから **xD-ピクチャーカード** へアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊ その他、誤った使い方をしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■ **取扱上のご注意**

- **xD-ピクチャーカード** は小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- **xD-ピクチャーカード** をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- **xD-ピクチャーカード** の記録中、消去（フォーマット）中は、絶対に **xD-ピクチャーカード** を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。**xD-ピクチャーカード** が破壊されることがあります。
- 指定以外の **xD-ピクチャーカード** はお使いにはなれません。無理にご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- **xD-ピクチャーカード** は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温多湿な場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
- **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びをする場合は、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びた **xD-ピクチャーカード** をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合は、いったん電源を切ってから、再度電源を入れて直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間のお使いになったあと取り出した **xD-ピクチャーカード** が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- **xD-ピクチャーカード** には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは、新しいものをお買い求めください。
- **xD-ピクチャーカード** にはラベル類は一切はらないでください。**xD-ピクチャーカード** の出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい **xD-ピクチャーカード** とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとの **xD-ピクチャーカード** を使って撮影する場合、**xD-ピクチャーカード** のフォーマットはカメラで行ってください。
- **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルはこのフォルダ内に記録されます。
- パソコンで **xD-ピクチャーカード** のフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。**xD-ピクチャーカード** がカメラで使用できなくなることがあります。
- **xD-ピクチャーカード** 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
- カメラで使用するファイル以外はコピーしないでください。

■ xD-ピクチャーカード™ の主な仕様

形式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード **xD-Picture Card**（**xD-ピクチャーカード**）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度0°C～+40°C 湿度80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm（幅×高さ×厚み）

警告表示

警告表示	警告内容	処置
(電池残量表示)	電池残量が減っている。またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
(手ブレ警告表示)	シャッター速度が遅く、手ブレが発生しやすい状態。	オート、赤目軽減、強制発光モードで撮影してください。
フォーマットされていません	● **xD-ピクチャーカード** がフォーマット（初期化）されていない。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。	● **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットしてください。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は、**xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ● 富士フイルムサービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● **xD-ピクチャーカード** が壊れている。 ● **xD-ピクチャーカード** のフォーマット異常。 ● カメラが故障している。	● **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ● 富士フイルムサービスステーションに修理をご依頼ください。
記録できませんでした	● **xD-ピクチャーカード** と本体の接触異常または **xD-ピクチャーカード** の異常。 ● 撮影画像が空き容量を超えている。	● **xD-ピクチャーカード** を入れ直すか、電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、富士フイルムサービスステーションに修理をご依頼ください。 ● 画像を消去するか、空き容量のある **xD-ピクチャーカード** を使用してください。
空き容量がありません	内蔵メモリまたは **xD-ピクチャーカード** に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある **xD-ピクチャーカード** を使用してください。 ＊ **xD-ピクチャーカード** 挿入時、内蔵メモリに空き容量がある場合は、**xD-ピクチャーカード** を取り出してください。
コマNO.の上限です	● コマNO.が999-9999に達している。 ● **xD-ピクチャーカード** に999_****フォルダがある。	● 1. すでに記録されたファイルをパソコンなどにコピーしたあと、フォーマットします。 2. [SET-UP]メニューで[コマNO.]を[新規]にします。 3. 撮影します（コマNO.が“100-0001”より始まります）。 4. [SET-UP]メニューで[コマNO.]を[連番]にします。 ● フォルダNO.999-****のフォルダをパソコンなどに移動し、カードへコピー機能を再度実行してください。
画像がありません	撮影画像がないので、再生できない。	撮影してください。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	• 正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 • **xD-ピクチャーカード**の接触面(金色の部分)が汚れている。 • カメラが故障している。 • 本機以外で記録した動画を再生しようとした。	• 再生することはできません。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 富士フイルムサービスステーションに修理をご依頼ください。 • 再生することはできません。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
カードがありません	**xD-ピクチャーカード** が挿入されていないのに、[カードへコピー]または[プリント予約(DPOF)]を選択した。	**xD-ピクチャーカード** を入れてください。
これ以上予約できません	プリント予約(DPOF)のコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一の **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーしてプリント予約してください。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	• 専用USBケーブルの接続を確認してください。 • プリンターの電源が入っているか確認してください。
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリントできません	赤外線通信、PictBridgeに関する表示。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF_JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかをご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
送信エラー	赤外線通信に関する表示。	• お使いのプリンターが赤外線通信に対応しているかをご確認ください。 • 本機の赤外線送信ポートとプリンターの赤外線受信ポートの間に遮断するものがないかを確認してください。 • データ送信中にカメラあるいはプリンターを動かさないようにしてください。

困ったとき

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	● 電池残量が減っている。またはない。 ● 電池が逆に入っている。 ● 電池カバーがロックされていない。	● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ● 電池を正しい方向に入れてください。 ● 電池を入れたら、電池カバーの“▲”を側に回してロックしてください。
電源が途中で切れる	電池残量が減っている。またはない。	新しい電池または充電済み電池と交換してください。
電池の消耗が早い。	● 温度が極端に低いところで使っている。 ● 端子が汚れている。 ● 電池の寿命。	● 電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラを入れてください。 ● 電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ● 新しい電池と交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● 空き容量がない ● ストロボ充電中(LEDランプ点滅)。 ● **xD-ピクチャーカード**がフォーマット(初期化)されていない。 ● **xD-ピクチャーカード**の接触面(金色の部分)が汚れている。 ● **xD-ピクチャーカード**が壊れている。 ● オートパワーオフになり、電源が切れた。 ● 電池が減っている。またはない。	● 画像を消去するか、空き容量のある **xD-ピクチャーカード** を使用してください。 ＊ **xD-ピクチャーカード** 挿入時、内蔵メモリに空き容量がある場合は、**xD-ピクチャーカード** を取り出してください。 ● ストロボ充電中は撮影できません。ストロボの充電が完了するまでお待ちください。 ● **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットしてください。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は、**xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ● 新しい **xD-ピクチャーカード** を入れてください。 ● 電源を入れてください。 ● 新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
暗いところでもストロボ撮影できない。	● 発光禁止モードに設定している。 ● ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	● ストロボモードをオート、赤目軽減、強制発光モードにしてください。 ● ストロボの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。
オート、強制発光、赤目軽減モードを選択できない。	近接モードを選択している。	近接モード時は自動的に発光禁止モードになります。通常モードにしてください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
ストロボが発光したのに、撮影した画像が暗い。	● 被写体が遠い。 ● ストロボに指が掛かっている。	● ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ● カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	● レンズが汚れている。 ● 近接モードにしたまま遠景を撮影した。 ● 近接モードにしないで近距離を撮影した。	● レンズを清掃してください。 ● 通常モードで撮影してください。 ● 近接モードで撮影してください。
1コマ消去/全コマ消去で消去できない。	プロテクトされているファイルを消去しようとしている。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
パソコンに接続したのに、カメラの液晶モニターに撮影または再生画面が表示される。	● パソコンまたはカメラに専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● パソコンの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● パソコンの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	電池をいったん取り出し、再度入れ直してから操作してください。それでも復帰できないときは、富士フイルムサービスステーションに修理をご依頼ください。
PictBridgeでプリントできない。	USB設定選択時に[]を選択していない。	USB設定選択時に[]を選択してください。

FinePixViewer

Windows

■ FinePixViewerが自動起動するのをやめたい。

こうしてください

Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional

自動起動します

自動起動しません

以下の2種類の方法でFinePixViewerは自動で起動しなくなります。

● **Exif Launcher の設定を変更する**

① タスクバーにある[Exif Launcher]を右クリックし、[設定]を選択します。
② [接続時に自動起動する]のチェックを外します。
＊ 元に戻す場合は、同様の手順で[自動起動]にチェックを入れます。

● **Exif Launcher を外す**

① タスクバーにある[Exif Launcher]を右クリックし、[終了]をクリックします。
② [スタート]→[プログラム]→[スタートアップ]→[Exif Launcher]を右クリックし、[削除]をクリックします。
＊ 元に戻す場合は、[Exif Launcher]のショートカットを[スタートアップ]に作成します。

Windows XP

Windows XPでは、接続モードごとに自動起動設定を切り換えることができます。

● **USB[ ]接続時**

① スタートメニューから[マイコンピュータ]を開きます。
② [リムーバルディスク]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
③ [自動再生]タブをクリックします。
④ [画像]を選択します。
⑤ [実行する動作を選択]を選択します。
⑥ [何もしない]を選択すると、自動起動しなくなります。
⑦ [OK]をクリックします。

■ 初回接続時に“WINDOWS”のラベルの付いたディスクを要求された。

こうしてください

① CD-ROMをWindowsのCD-ROMに入れ換えます。
② [ファイルのコピー]の[参照]をクリックします。
③ 表れたダイアログのドライブの表示窓で[CD-ROM]を選択し、以下の表に従ってフォルダを指定し、[OK]をクリックします。
④ [ファイルのコピー]の[OK]をクリックすると、ドライバがインストールされますので、[完了]を押してください。

OSの種別	フォルダ名　＊CD-ROM ドライブがD: ドライブの場合
Windows 98	D:¥win98
Windows Me	D:¥win9x
Windows 2000 Professional	D:¥i386
Windows XP	D:¥i386

パソコンに Windows の CD-ROM が付属していない場合は、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

■ USB[⇆]接続でカメラをパソコンに接続したとき、[新しいハードウェアの追加ウイザード]が表示された。

確認してください	こうしてください
FinePixViewerはインストールされていますか。	付属のCD-ROMでFinePixViewerをインストールしてください（→57ページ）。
[⇆]接続に設定していませんか。	USB設定を [⇆] 接続に変更してください。

■ FinePixViewerが自動起動するまでに時間がかかる。

確認してください	こうしてください
常駐しているアプリケーションが多すぎませんか。	[スタート]→[プログラム]→[スタートアップ]を選択します。[スタートアップ]の中の使用頻度の低いアプリケーションのショートカットを右クリックします。ポップアップメニューから[削除]をクリックし、削除してから再起動してください。

■ パソコンがカメラを認識しない（パソコンでカメラを利用できない）。

確認してください	こうしてください
専用USBケーブルはカメラとパソコン本体に接続されていますか。	専用USBケーブルの一端がカメラに、もう一端がパソコン本体に接続されているかを確認してください（→49ページ）。
対応したOSをお使いですか。	Windows 98/98 SE/2000 Professional/XP でお使いください。
USB機能は有効になっていますか。 [コントロールパネル]→の[システム]→[デバイスマネージャ]を選択し、[USBコントローラ（ユニバーサル シリアル バス コントローラ）]をご確認ください。	・[USBコントローラ（ユニバーサル シリアル バス コントローラ）]が表示されていないとき、USB機能は無効になっています。詳しくはパソコンのマニュアルをご参照の上、有効にしてください。 ・黄色の[！]や赤色の[×]付いていたら、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンのマニュアルをご参照の上、有効にしてください。

■ カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。

確認してください	こうしてください
カメラとパソコンが通信しているときに、カメラを取り外しませんでしたか。	この操作により、データが壊れる可能性があります。必ずカメラ（リムーバルディスク）内のファイルをすべて閉じ、カメラとパソコンが通信していないことを確認して、カメラを取り外してください。

■ [デバイスの取り外しの警告]が表示された。

確認してください	こうしてください
Windows Me/2000 Professional/XP をお使いですか。	タスクバーの上の[ ]をクリックして、[USB Mass Storage] または[USBディスク]を取り外してください。
[リムーバルディスク]を右クリックして、[取り外し]をクリックしませんでしたか。	Windows Me/2000 Professinal/XPでは、タスクバーの上の[ ]をクリックして、[USB Mass Storage]または[USBディスク]を取り外してください。

■ [カメラ/メディアの取り外し]画面で[取り外し]をクリックしたら、[デバイスの取り外し中にエラーが発生しました。]が表示された。

こうしてください
53ページの説明に従って、取り外し操作を行ってください。

■ カメラが画像ファイルを再生できなくなった。

確認してください	こうしてください
[DCIM]内のフォルダ名やファイル名を変更していませんか。	[DCIM]内のフォルダ名やファイル名を元に戻してください。
[DCIM]内の画像ファイルを上書きしていませんか。	[DCIM]内の画像ファイルは上書きしないでください。

■ AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

こうしてください
・パソコンで再生する前にメモリ（内蔵メモリ、xD-ピクチャーカード）内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存し、保存したファイルを再生してください。 ・動画ファイルはデータ量が大きくなり、ご使用になるパソコンの性能によっては、画像処理が追いつかず、動画が滑らかに再生できない場合があります。 ・動画が滑らかに再生されない場合、動画ファイルをFinePixViewerで一括フォーマット変換して再生すると、より滑らかに再生できる場合があります。

■ カメラとのアクセスの際、パソコンがハングアップする。

確認してください	こうしてください
[デバイスマネージャ]を開いたとき、[USBコントローラ（ユニバーサル シリアル バス コントローラ）]の中のドライブに黄色の[！]が付いていませんか。	USBコントローラ（ユニバーサル シリアル バス コントローラ）のドライバの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。お使いのマニュアルをご参照になり、環境を確認してください。
[デバイスマネージャ]を開いたとき、[USB Mass Storage]に[！]が付いていませんか。	Mass Storage Driverの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。付属のCD-ROMでFinePixViewerをインストールし直してください。

■ 専用USBケーブルを抜いたときや[リムーバルディスク]をダブルクリックしたとき、メッセージが表示されて開けない。

確認してください	こうしてください
他のUSBリムーバルディスクを接続していませんか。	一部のUSBリムーバルディスクは、他のUSBリムーバルディスクと同時に使用すると、正しく動作しません。USBリムーバルディスクの接続をすべて外したあとにカメラを接続してください。また、一部のUSBストレージ機器には、Exif Launcherが常駐していると、パソコンの動作が不安定になるものがあります。「自動起動の設定を変更したい」を参考に、Exif Launcherを外してください。

■ パソコンが正常に終了しない。

こうしてください
パソコンとカメラの接続を手順に従って外してから、Windowsを終了させてください。

＊パソコンの機種によっては、カメラを接続したままでは正常に終了しない場合があります。

■ 「画像ネットサービス」にログインできない。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか。	パソコンの環境を確認してください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか。	「画像ネットサービス」のメンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか。	FinePixViewerの[今すぐ登録]をクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください。

■ 「画像ネットサービス」にユーザー登録できない。

確認してください	こうしてください
すでに同じメールアドレスで登録していませんか。	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■ インターネットメニューが正しく更新できない（ボタンがきれいに並ばない）。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ① FinePixViewerを終了します。 ② [スタート]→[プログラム]→[FinePixViewer]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。 ③ [リンク先を探す]をクリックすると、インストールしたフォルダが表示されます。 ④ インストールしたフォルダ内の[FinePixViewerFiles]を削除します。 ⑤ FinePixViewerを起動して、[表示]→[メニューの更新]をクリックします。

Macintosh

■ FinePixViewerが自動起動しない。

こうしてください

Mac OS 9.2.2

[設定-Exif Launcher設定]で[再起動時にExif Launcherを起動する]にチェックを入れ、再起動してください。

Mac OS X 10.2

ImageCaptureの設定を次のように変更してください。

カメラ環境設定:FPVBridgeを選択します。

Mac OS X 10.3

カメラを接続したときに起動する項目:FPVBridgeを選択します。

■ FinePixViewerが自動起動するのをやめたい。

こうしてください

● Exif Launcherの設定を変更する
① FinePixViewerの[設定-Exif Launcher 設定]を選択して、[再起動時にExif Launcherを起動しない]をクリックします。
② 再起動します。
＊ 元に戻す場合は、同様の手順で[再起動時にExif Launcherを起動する]にチェックを入れ、再起動します。

● Exif Launcherを外す
① FinePixViewerの[設定-Exif Launcher 設定]を選択して、[Exif Launcherを直ちに終了する]にチェックを入れます。
② [システムフォルダ]→[起動項目]→[Exif Launcher]を[ゴミ箱]に入れます。
③ [特別]メニューの[ゴミ箱を空に…]を選択します。
＊ 元に戻す場合は、FinePixViewerを再インストールしてください。

● ImageCaptureの設定を変更する（Mac OS X 10.2以降）
① [ImageCapture]をダブルクリックします。
② [イメージキャプチャ]メニューの[環境設定…]を選択します。
③ [カメラを接続した時に起動する項目]を[アプリケーションがありません]に変更し、クローズボタンをクリックします。
＊ 元に戻す場合は、[カメラを接続した時に起動する項目]を[FPVBridge]に設定します。

■ USB[ ]接続したときに、Mac OSの[ディスクの初期化]が表示される。

確認してください	こうしてください
内蔵メモリまたは xD-ピクチャーカード はフォーマット済みですか。	カメラを取り外して、内蔵メモリまたは xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットしてください。
Mac OS 9.2.2のみ File Exchangeは有効ですか。	File Exchangeを有効にしてください。

■ パソコンがカメラを認識しない（パソコンでカメラを利用できない）。

確認してください	こうしてください
専用USBケーブルはカメラとパソコン本体に接続されていますか。	専用USBケーブルの一端がカメラに、もう一端がパソコン本体に接続されているかを確認してください（→49ページ）。
対応したOSをお使いですか。	Mac OS 9.2.2またはMac OS X（10.2.6～10.3）でお使いください。Mac OS XのClassic環境では正常に動作しません。

■ カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。

確認してください	こうしてください
カメラがドライブとしてマウント中にもかかわらず、カメラを取り外しませんでしたか。	この操作により、データが壊れる可能性があります。ドライブを[ゴミ箱]にドラッグ＆ドロップしてください。

■ カメラが画像ファイルを再生できなくなった。

確認してください	こうしてください
[DCIM]内のフォルダ名やファイル名を変更していませんか。	[DCIM]内のフォルダ名やファイル名を元に戻してください。
[DCIM]内の画像ファイルを上書きしていませんか。	[DCIM]内の画像ファイルは上書きしないでください。

■ AVI 形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

こうしてください
・パソコンで再生する前にメモリ(内蔵メモリ、xD-ピクチャーカード)内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存し、保存したファイルを再生してください。 ・動画ファイルはデータ量が大きくなり、ご使用になるパソコンの性能によっては、画像処理が追いつかず、動画が滑らかに再生できない場合があります。 ・動画が滑らかに再生されない場合、動画ファイルをFinePixViewerで一括フォーマット変換して再生すると、より滑らかに再生できる場合があります。

■ 「画像ネットサービス」にログインできない。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか。	パソコンの環境を確認してください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか。	「画像ネットサービス」のメンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか。	FinePixViewerの[今すぐ登録]をクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください。

■ 「画像ネットサービス」にユーザー登録できない。

確認してください	こうしてください
すでに同じメールアドレスで登録していませんか。	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■ インターネットメニューが正しく更新できない(ボタンがきれいに並ばない)。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ① FinePixViewerを終了します。 ② 次の場所にあるフォルダを削除します。 Mac OS 9.2.2 [システムフォルダ]→[初期設定]→[FinePixInternetFiles]フォルダ Mac OS X [Users]→[(ユーザー名)]→[Library]→[Preferences]→[FinePixInternetFiles]フォルダ ③ FinePixViewerを起動して、[表示] →[メニューの更新]をクリックします。

■ [画像アップロードモジュールを実行できませんでした。]と表示された。<Mac OS 9.2.2>

確認してください	こうしてください
システムのメモリが不足していませんか。	① 起動中の他のアプリケーションを終了します。 ② [コントロールパネル]→[メモリ]で[仮想メモリ]を増やし、再起動します。

■ FinePixViewerの[アップロード]ダイヤログ操作中に [メモリ不足エラー。Uploadのメモリを増やしてください。]が表示された。<Mac OS 9.2.2>

こうしてください

① アップロードする画像のサムネイルをクリックします。
② FinePixViewerのウィンドウ最下部の情報表示部のピクセル数を確認し、下の表に従って数値を決定してください。

最も大きな画像のピクセル数	必要な使用メモリ
1280×1024ピクセル以内	15000
1800×1200ピクセル以内	22000
1240×1600ピクセル以内	35000
3040×2016ピクセル以内	54000

③ FinePixViewerをインストールしたフォルダにある[Upload]を選択します。
④ [ファイル]メニュー→[情報を見る]をクリックすると、[Upload情報]が表示されます。
⑤ [表示:]ポップアップメニュー→[メモリ]を選択します。
⑥ [メモリ必要条件]→[使用サイズ]に必要な使用メモリを割り当ててください。

■ [ツールを実行できませんでした。]と表示された。

確認してください	こうしてください
システムのメモリが不足していませんか。	① 起動中の他のアプリケーションを終了します。 ② [コントロールパネル]→[メモリ]で仮想メモリ]を増やし、再起動します。

用語の解説

EV：

露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は+1、半分になるとEV値は-1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：

Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）：

Joint Photographic Experts Groupの略で、元は画像圧縮の標準化推進組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）：

画像と音声の両方を一つのファイルで扱うためファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1つであり、ファイル内のJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：Windows Media Player　＊ DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊ QuickTime3.0以降

ホワイト バランス：

人間の目にはどんな照明のもとでも白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って、はじめて白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

フレームレート：

1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ）を表す単位です。例えば、1秒間に10コマを連続して撮影している場合は、10フレーム/秒と表します。

＊ テレビは約30秒フレーム/秒です。

主な仕様

型式	デジタルカメラ
有効画素数	約400万画素
撮像素子	1/2.5型正方画素原色インターライン方式CCD（総画素数418万画素）
記録メモリ	内蔵16MBフラッシュメモリおよびxD-ピクチャーカード（別売16MB～512MB）
記録方式	静止画：JPEG準拠Exif Ver2.2　DPOF対応 動画：DCF準拠（AVI形式、Motion JPEG）
記録画素数	静止画：2272x1704ピクセル/1600x1200ピクセル/640x480ピクセル 動画：320x240ピクセル/160x120ピクセル
撮影可能枚数（内蔵16MBメモリ）	2272x1704ピクセル FINE時：約4枚、2272x1704ピクセル NORMAL時：約12枚、1600×1200ピクセル時：約25枚、640×480ピクセル時：約151枚
撮影レンズ	フジノンレンズ　f=7.7mm（35mmフィルム換算約46mm）　F3.5
デジタルズーム	2倍、3倍、4倍
フォーカス	固定焦点
撮影可能範囲	標準：100cm～∞ 近接：60cm～100cm
測光方式	CCDセンサー測光領域使用
撮像感度	オート（ISO 64～200）
シャッタースピード	1秒～1/2000 秒
露出補正	-2EV～+2EV（1/3（0.3）EVステップ）
ストロボモード	オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止　 プレ発光によるIGBT発光量制御 ストロボ撮影可能距離：1.0m～2.0m
ホワイトバランス	オート/晴天/曇り/蛍光灯/電球　切り換え
動画	320x240ピクセル時：連続最長約20秒 160x120ピクセル時：連続最長約80秒 音声なし　フレームレート：15フレーム/秒
液晶モニター	1.5型TFTカラー液晶、約12万画素
デジタル入出力端子	USB（Ver.1.1仕様）
その他の機能	赤外線通信機能付き、PictBridge対応、 言語設定（日/英/独/仏/西/伊/中）
電源	単3形アルカリ乾電池（LR6）2本または相当品
使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：80% 以下（結露しないこと）
寸法	94mmx75mmx35mm（付属品、突起部含まず）
質量	本体質量：110g（付属品、電池、xD-ピクチャーカード含まず） 撮影時質量：155g（電池含む）
付属品	ストラップ、単3形アルカリ電池 LR6 2本、専用USBケーブル、CD-ROM（USBドライバ、FinePixViewer、Acrobat Reader、使用説明書）、はじめに/安全上のご注意、クイックスタートガイド（カメラ操作編、パソコン接続編）、保証書
別売アクセサリー	76ページをご覧ください。

＊ 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

＊ 液晶モニターは非常に高精密度技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。

■ 標準撮影枚数

液晶モニター	ピクセル（記録画素数）	クオリティー（圧縮率）	撮影可能枚数						
			内蔵16MBメモリ	xD-ピクチャーカード					
				DPC-16 (16MB)	DPC-32 (32MB)	DPC-64 (64MB)	DPC-128 (128MB)	DPC-256 (256MB)	DPC-512 (512MB)
4M・F	2272 × 1704	FINE	4	5	11	22	45	118	180
4M・N	2272 × 1704	NORMAL	12	16	32	66	132	266	526
2M	1600 × 1200	-	25	32	65	132	265	532	1053
0.3M	640 × 480	-	151	193	393	793	1592	3192	6319

安全上のご注意

- ご使用前に使用説明書をよくお読みの上､正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

■　表示内容を無視して誤った使い方を生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。		
⚠	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■　お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は､気をつけていただきたい｢注意喚起｣内容です。
⊘	このような絵表示は､してはいけない｢禁止｣内容です。
●	このような絵表示は､必ず実行していいただく｢強制｣内容です。

⚠ 警告	
異常が起きたら電源を切り､電池を外す 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ● 富士フイルムサービスステーションにご相談ください。	●
内部に水や異物を落とさない。 水･異物が内部に入ったら､電源を切り､電池を外す。 そのまま使用すると､ショートして火災･感電の原因になります。 ● 富士フイルムサービスステーションにご相談ください。	水ぬれ禁止
風呂、シャワー室では使用しない。 火災・感電の原因になります。	風呂、シャワー室での使用禁止
分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。 **落としたり、ケースが破損したときは使用しない。** 火災・感電の原因になります。 ● 富士フイルムサービスステーションにご相談ください。	分解禁止

接続コードの上に重いものをのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。 コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。 • コードに傷がついた場合は、富士フイルムサービスステーションにご相談ください。	
不安定な場所に置かない。 バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。	
直射日光の当たる場所に置かない。 レンズを使っているため、発火の危険があります。	
移動中の使用はしない。 歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。転倒、交通事故の原因になります。	
雷が鳴り出したら金属部分に触れない。 落雷すると誘電雷により感電の原因になります。	
指定外の方法で電池を使用しない。 電池は極性（+ -）表示どおりに入れてください。	
電池を分解、加工、加熱しない。 「電池を分解、加工、加熱しない」と同じ大きさ、太さで 電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になります。	
指定外の電池を使用しない。 火災の原因になります。	
電池の液がもれて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがの恐れがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。	
電池を廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。 他の金属や電池と混じると、発火・破裂の原因となります。	
xD-ピクチャーカード は乳幼児に触れさせないこと。 **xD-ピクチャーカード** は小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	

⚠ 注意	
油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。 火災・感電の原因になることがあります。	🛇
異常な高温になる場所に置かない。 窓を閉め切った自動車の中や直射日光の当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。	🛇
小さいお子様の手の届かないところに置かない。 けがの原因になることがあります。	🛇
本機の上に重いものを置かない。 バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。	🛇
本機を布や布団でおおったりしない。 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。	🛇
お手入れの際や長時間使用しないときは電池を外す。 火災・感電の原因になることがあります。	❗
ストロボを人の目に近づけて発光させない。 一時的に視力に影響することがあります。 特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。	🛇
xD-ピクチャーカード を取り出す場合、カードが取り出す場合がありますので、指で受け止めたあとにカードを引き抜くこと。 飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。	❗
定期的な内部点検・清掃を依頼する。 本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。	⚠

FUJIFILM　富士フイルム イメージング株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

PIサポートセンター

ナビダイヤル 0570-00-1080
市内通話料でOK ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます（受付時間 : 月曜日～金曜日　午前9 : 00～午後5 : 40　土日祝祭日休み）

携帯電話・PHS等からご利用の場合は　TEL（0424）81-1697（受付時間 : 月曜日～金曜日　午前9 : 00～午後5 : 40　土日祝祭日休み）

※年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。

●お買い上げ製品の修理の受付は…

札　幌 : 富士フイルムサービスステーション　〒060-0002　札幌市中央区北2条西4-2　札幌三井ビル別館　TEL (011) 222-3973
仙　台 : 富士フイルムサービスステーション　〒980-0811　仙台市青葉区一番町4-6-1　仙台第一生命タワービル　TEL (022) 265-2149
東　京 : 富士フイルムサービスステーション　〒105-0022　東京都港区海岸1-9-15　竹芝ビル　TEL (03) 3436-1315
名古屋 : 富士フイルムサービスステーション　〒460-0008　名古屋市中区栄1-12-19　TEL (052) 202-1851
大　阪 : 富士フイルムサービスステーション　〒541-0051　大阪市中央区備後町3-2-8　大阪長谷ビル　TEL (06) 6260-0915
広　島 : 富士フイルムサービスステーション　〒732-0816　広島市南区比治山本町16-35　広島産業文化センター　TEL (082) 256-3511
福　岡 : 富士フイルムサービスステーション　〒812-0018　福岡市博多区住吉3-1-1　TEL (092) 281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪 : 富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日(祝日、年末年始、夏期休暇以外)は営業しております。
ただし、受け渡し業務のみとなります。